

新しい地域振興の形・ハイウェイオアシス

高速・一般道両方から出入り可能

「ハイウェイオアシス」なるものをご存知だろうか。高速道の利用客が休憩に立ち寄るサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）に隣接し、一般道からも出入りできる公園や飲食店などを擁する総合施設のことだ。現在関西で唯一のハイウェイオアシスは、明石海峡大橋で淡路島に渡つてすぐのSAから直結する「淡路ハイウェイオアシス」。人気観光地・淡路島の北の玄関口だけあって、高速道利用客や大型観光バスで乗り付ける観光客でにぎわう。

では、ハイウェイオアシスとSAは一体何が違うのだろうか？

軽食や土産物販売だけでなく、元の新鮮な野菜・肉・魚介が楽しめる、アトラクションを備えた公園を併設し、一般道からも出入りできることから、地元近隣住民もターゲットにしている点でSAとは性質を異にする。高速道の休憩所ではなく道の駅やテーマ

パークともまた違う。しかもまたさらには温泉や宿泊施設を備えた充実度で、デイズニードやユニバーサルスタジオに次ぐ人気を誇るハイウェイオアシスも存在する。

通過点から目的地へと変化

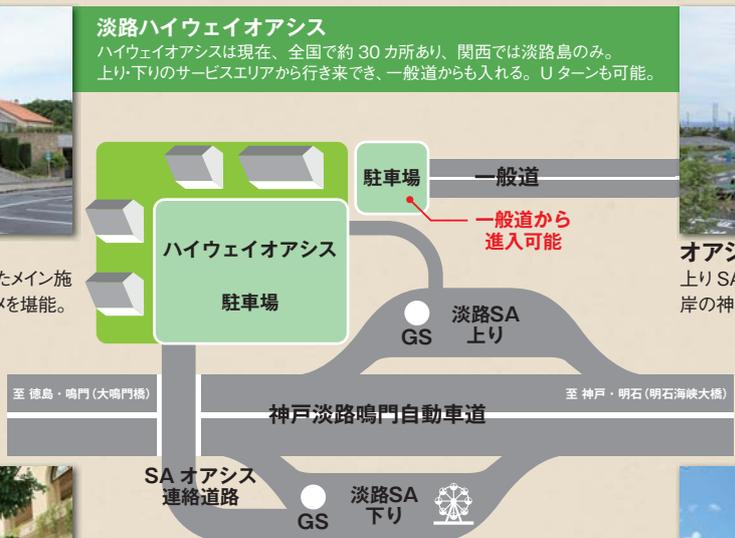
道路（ハイウェイ）は長らく人やモノを運ぶ手段として存在してきた。そこに車を停めたり休憩したりする場所として、PAやSAが付属するようになった。しかしこれらはまだ道の一部でしかなく、「通過点」だった。

ハイウェイオアシスがこれまでにないスタイルの施設になったのは、「通過点」ではなく、「そこへ行きたいから行く」明確な「目的地」となり得たからだ。高速道の利用客と、地元近隣住民の双方が継続的に足を運ぶ総合施設。SAとは一線を画しながら、高速道路の利便性と観光資源を最大限に生かした集客が可能となるハイウェイオアシスは、地域振興の新しいモデルとなるに違いない。



オアシス館
レストランや物産店が入ったメイン施設「オアシス館」で淡路島グルメを堪能。

淡路ハイウェイオアシス
ハイウェイオアシスは現在、全国で約30カ所あり、関西では淡路島のみ。上り・下りのサービスエリアから行き来でき、一般道からも入れる。Uターンも可能。



至 徳島・鳴門（大鳴門橋） 至 神戸・明石（明石海峡大橋）

神戸淡路鳴門自動車道

SA オアシス 連絡道路 淡路SA 下り



オアシス館からの眺望
上りSA方向および明石海峡大橋や対岸の神戸方面への眺望。



オアシス館 内観
ガラス貼りで眺望が広がる屋内庭園で憩いの時間を満喫。

公園
約135haの兵庫県立淡路島公園。「森のゾーン」「草原と花のゾーン」など4つのゾーンがあり、家族で満喫できる。

